

1 単元名 My Summer Vacation 夏休みの思い出 (Junior Sunshine 6 Lesson 4)

2 単元の目標

- I went to ~. I saw [ate / enjoyed] ~などの夏休みの思い出やその感想を伝える言い方を理解したり、4線の上に書き写したりすることができる。 (生きて働く知識・技能)
- 友だちやALTに伝わるように工夫しながら、夏休みの思い出について伝えることができる。 (未知の状況にも対応できる思考力・判断力・表現力)
- 友だちやALTに伝わるように工夫しながら、夏休みの思い出について伝えようとする。 (学びを人生や社会に生かそうとする学びに向かう力・人間性)

3 単元の評価規準

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
話す [発表]	㊦ I went to ~. I saw [ate] [enjoyed] ~. It was ~.などの表現について理解している。 ㊧ 夏休みの思い出について、I went to ~. I saw [ate] [enjoyed] ~. It was ~.などの表現を用いて、話す技能を身に付けている。	友だちが来年の夏に同じことをしたくなったり、ALTに自分のことをよく知ってもらったりするために、夏休みの思い出について、自分の考えや気持ちを含めて発表している。	友だちが来年の夏に同じことをしたくなったり、ALTに自分のことをよく知ってもらったりするために、夏休みの思い出について、自分の考えや気持ちを含めて発表しようとしている。
書く	㊦ I went to ~. I saw [ate] [enjoyed] ~. It was ~.などの表現について理解している。 ㊧ 夏休みの思い出について、音声で十分に慣れ親しんだ語句や表現を用いて例文を参考にしながら書き写す技能を身に付けている。	* 目標に向けた指導は行いが、記録に残す評価は行わない。	* 目標に向けた指導は行いが、記録に残す評価は行わない。

4 指導観

- 本単元は、学習指導要領の話すこと[発表]のイ「自分のことについて、伝えようとする内容を整理した上で、簡単な語句や基本的な表現を用いて伝え合うことができるようにする」を重点指導事項として取り扱うために設定した。本単元では、I went to ~.や I saw [ate / enjoyed] ~.等の言語材料を使って、友だちに「来年の夏に同じことをしたい」と思ってもらったり、新しいALTに自分のことをよく知ってもらったりするために、夏休みの思い出を発表する。
- 本学級の児童は、第3学年より外国語活動・外国語科の学習をしてきている。外国語を用いて自分の思いや考えを伝えたり、友達の思いや考えを理解したりすることの楽しさや喜びを味わい、進んでコミュニケーションを図ろうとする児童が増えてきた。また、相手の話す英語の表現を推測しながら理解し、進んでリアクションをしようとする態度も見られるようになってきた。また、単元で出会う言語材料に加え、これまでに慣れ親しんだ既習の言語材料を使い、工夫して自分の思いや考えをより詳しく伝えようとする力も少しずつではあるがついてきている。
- 本単元の指導に当たっては、児童が単元を通して目的意識をもって言語活動を行うことができるよう、活動を設定することで、自分の思いや考えを意欲的に話すことができるような場面を設定する。特に、本時の指導においては、まず、Small Talk を聞かせることで、本時の活動に必要な言語材料を確認する。
次に、ペアで夏休みの思い出を伝え合う言語活動を行う。途中で、中間指導の場を設け、言い方が分からず困ったことを全体で解決したり、相手に伝えるために工夫したことについて、全体で共有したりしていく。中間指導で気付いた表現等を生かして、1回目よりもさらに工夫しながら言語

活動を行わせる。最後に、音声で十分に慣れ親しんだ語句や表現を4線上に正しく書き写させる。

5 主な言語材料

- I went to the swimming pool. I saw fireworks. I ate shaved ice.
- It was nice. 形容詞 (beautiful, cute, fun, exciting, delicious など)
- I enjoyed shopping. 動名詞 (camping, swimming, cycling など)
- 【既出】 festival, fireworks, house, 食べ物 など
- I, you, my, he, she, what, where, who など
- 名詞 (, cap, swimwear, hot dog, swimming など)

6 指導計画及び評価計画 (本時 3 / 8)

段階 時数	学習内容及び学習活動	評価の観点		
		知・技	思・判・表	主体的
1・2	単元のゴールを知り、今できる力で、夏休みの思い出を聞いたり話したりする。			
3 (本時)	相手に分かるように夏休みの思い出を聞いたり話したり、例文を参考に書いたりする。(1回目)			
4	相手に分かるように工夫して、夏休みの思い出を聞いたり話したりする。(2回目)			
5	相手によく分かるように工夫して、夏休みの思い出を伝えたり、夏休みの思い出を、例文を参考に書いたりする。(3回目)	書		
6	夏休みの思い出について、相手によく分かるように詳しく話す。	話		
7・8	友だちが来年の夏に同じことをしたいと思ってもらったり、ALTに自分のことをよく知ってもらったりするために、夏休みの思い出や感想などを発表する。	話	話	話

7 本時の目標

相手に分かるように夏休みの思い出を聞いたり話したり、例文を参考に書いたりすることができる。

8 本時の学習指導過程

段階	学習内容及び学習活動	指導上の留意点 (○評価規準と方法) (会話例 T:教師 C:児童)
導入 5分	1 挨拶をする。 2 Small Talk をする。 ・食べたもの、楽しんだもの、見たもの、行ったところ 【Small Talk 例】 T: I ate dragon fruits. What did you eat? C: I ate shaved ice. T: Nice. (Was it) delicious? C: Yes. It was sweet too. (delicious/sour/salty/etc...) T: How about you. ○○ san? ...	<ul style="list-style-type: none"> • 全体に挨拶をする。 • 単元と本時のゴールを確認し、見通しをもたせる。 • 児童に身近なものを写真で提示しながら、まずは時間を区切って繰り返しペアで聞いたり、話したりさせることで、本時のゴールの見通しをもたせる。 • 初めて話すので、まだ言えない児童もいることが予想されるが、練習や展開で聞いたり話したりする活動を繰り返し取り組んで学んでいけばいいことを伝えることで安心して学習に取り組むことができるようにする。 • Small Talk は、食べたもの、楽しんだもの、見たもの、行ったところの中から児童の課題に応じて、意図的に選択して言語活動に取り組ませるようにする。 • ALT とやり取りをしたり、代表の児童とやり取りをしたりしながら、児童が必然的に聞くことができるようにする。
	3 単元と本時のゴールを確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 本時の GOAL </div> 相手に分かるように、夏休みの思い出を聞いたり話したり書いたりしよう。	

<p>展開</p> <p>25分</p>	<p>4 (必要に応じて)【Let's Listen 3】 p.54 で、食べたものや見たものを聞き、行った場所と食べたもの、見たものを線で結ぶ。</p> <p>5 ペアで、夏休みに食べたものや見たものを聞いたり話したりする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1回目 ・中間指導 <p>6 夏休みに食べたものや見たものを聞いたり話したりする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2回目 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 指導者のみの時は、デジタル教科書の音声を活用する。ALTがいる場合は、代わりに登場人物に成り切って発話してもらったり、ゆっくり言ってもらったりすることで児童の理解を促すなど、状況に応じて工夫をするようにする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center;">【Let's Listen 3】 ※下線部のところを特に意図的に聞かせ、</p> <p>① I went to a beach. I <u>saw</u> many plastic bags on the beach. I cleaned the beach.</p> <p>② I went to a vegetable farm. I <u>ate</u> a fresh carrot. It was delicious.</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・ 途中で中間指導の場を設け、言い方が分からず困ったことを全体で解決したり、食べたものや見たものの言い方でまだ言えない語句や表現などを全体で共有したりする。 ・ 行った場所や楽しんだことなどを関連させて話すことで、夏休みの思い出がより伝わることに気付かせる。 <p>○ 本活動では、「話すこと [発表]」について目標に向けて見届けながら指導を行うが、記録に残す評価は行わず第6時に行う。</p>
<p>終末</p> <p>15分</p>	<p>7 【Let's Listen and Read 1】 p.53 の音声を聞きながら指で追い読みをする。</p> <p>8 【Let's Write 1】 p. 53 に、夏休みにしたことについて、友だちに伝えたことから1つ選んで書く。</p> <p>9 本時の活動を振り返る。</p> <p>10 挨拶をする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 音声で十分に慣れ親しませるために、まずは個人で読めそうか挑戦させた後、音声 (又はALTの発音) を聞かせ、児童と一緒に指で追いながら読むように配慮する。 ・ 【Let's Listen and Read 1】 p.53 の例文を参考にして書く時のルールを確認したり書き写させたり、Word Book を活用させて書き写させたりするなど、学び方を児童に問い、確認してから書かせる。 ・ どうしても書くことができない語句は、次時の中間指導で取り上げることを伝える。 ・ 友だちと伝え合う際に工夫したことを振り返らせ、全体で共有させる。

1.0 板書計画

